シラバス（公民科）【ホームページ・ガイダンス用】

科目名	倫理・政経発展	学年	3	使用教材	教科書	高等学校 改訂版 倫理	第一学習社	高等学校　政治・経済	第一学習社
		必履修の別（必・選必・コース選）	コース選		副教材	テオーリア最新倫理資料集新版三訂 倫理用語集/政治・経済用語集 4ステージ演習ノート(倫理/政治・経済) 新版　政治・経済資料集2019	第一学習社 山川出版/清水書院 数研出版 第一学習社		
学科	全学科	単位数	2						
系統科目	倫理（3年国文・理数科必修、2単位）、現社発展（3年全学科選択、2単位）								

【学習目標】

○ 人間尊重の精神に基づいて、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育て、それを自己の言葉で表現できる実践力にまで高める。

○ 世界観や人生観を主体的に考え、その考える過程を「面白い」と感じる能力を育成し、自ら調べ、学ぶ能力まで高める。

【学習方法のポイント】

1 毎時間の授業では、はじめに学習のめあてを示すので、「何を学ぶのか」を意識して授業にのぞむことが大切です。
2 授業における疑問点は授業中あるいは授業後に積極的に質問するなど、あやふやにしないようにしましょう。
3 問題集を活用し、「基礎・基本の定着」と「応用力の育成」を図ります。家庭学習でも取り組んでみましょう。
4 ノート・ワークシートはきちんと整理して、テスト前に振り返りが出来るようにしましょう。

【学習評価と観点】

○ 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①関心・意欲・態度	i　先哲の思想、現代の諸課題について関心を強めているか。 ii　意欲的に課題を追求する態度や自己との関わりにおいて考察しようとする態度を身につけているか。 iii　主体的に他者との関わりや社会との関わりにおいて課題を考察しようとする態度を身につけているか。
②思考・判断	i　現代社会、先哲の思想から課題や思想の本質を見いだすことができるか。 ii　見いだした課題や思想の本質について、多面的・多角的に考察し探求することができるか。 iii　課題や本質について自己との関わりや他者・社会との関わりにおいて問題を捉え、公正に判断することができるか。
③表現・処理	i　学習の中で追求した諸課題や先哲の基本的な考え方を正しい言語で適切に表現できるか。 ii　現代の政治経済に関することや先哲の思想に関わる諸資料を収集し、主体的に選択し、活用しているか。
④知識・理解	i　現代の政治経済の特質や先哲の基本的な考え方について理解し、知識を身につけているか。

評価方法／観点	①	②	③	④	備　考
学習状況観察	◎	―	―	―	自己評価の実施
ノート・ワークシート	◎	◎	○	○	誤答ノートを含む
課題レポート等	○	◎	◎	○	長期休業中の課題を含む
単元テスト等	―	○	◎	◎	単元テストを実施
定期考査	―	○	◎	◎	中間・期末（1，2学期）、学年末（3学期）

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

○ 学習の記録簿を活用しすることで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲（目安）】※追加・変更することもある。

			教科書（単元）	備　考
学期	1学期	中間	西洋近現代の思想	
		期末	西洋近現代の思想	
	2学期	中間	現代日本の諸課題	
		期末	国際社会の諸課題	
	3学期	学年末	倫理、政治・経済全範囲	

【学習サポート】

○ いつでも、学習に関する相談を行うので、理解の難しいところやつまずいている箇所があれば、早めに解決していこう。